

桜の季節。

通常なら夢と希望に満ち溢れた春を迎える4月ですが、今年は新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延しています。岐阜県でも多数の感染が発生し、不安と自粛による不便な生活、経済的な打撃がこの村にも押し寄せてきています。

しかも、日本でもいつ「爆発的感染」が起きてもおかしくないと言われており、政府は特別措置法に基づく「政府対策本部」を設置し、「緊急事態宣言」も発令されるかもしれない状況です。

皆さんには力を合わせて「自己防衛」に徹していただきたいと考えています。不要不急の外出を控えること、手洗いの励行、マスク着用、密閉空間を避けること、密集場所を避けること、密接場면을避けることなど、国民全員が注意して感染防止に努める他に手立てはありません。

村は、いつでも対策本部を設置できるように準備をしており、国、県の指導により、できる限りの対策を講じて参ります。

御心配なこと、経済的な御相談、何でもまずは役場、若しくは保健福祉センター、診療所へ電話で御相談下さい。

そんな厳しい環境でも3月には、中学校では15名、小学校では18名の卒業生がそれぞれの学び舎を巣立っていきました。

感染に注意を払いながら自粛ムードの卒業式でしたが、小学校、中学校どちらも卒業生の合唱には未来への希望が光り輝いたものでした。

令和2年度のスタートは厳しいものになりましたが、行政に足踏みや歩みの停止は許されません。どんな状況下でも突発的な課題、短期的な見通しで対処すべき課題、長期的な視野を持って実施し、継続していく政策、それぞれ対応の仕方は異なりますが、コロナ感染症対策も含めて、停滞無く業務をスタートしてまいります。

村内の多くの皆様にも御理解と御協力をいただいております。定期総会や行事の自粛が続きます。閉塞感が蔓延するのもよくありません。新型コロナウイルスに勝つには免疫力を高める必要があります。苦しい時や不安な時こそ笑顔を忘れずにストレスを溜めないようにしましょう。

止まない雨はありません。

いつか心の底から、あの時は苦しかったけど、よく頑張ったねと思える日が来る事を信じて、お互いに励まし合いながらこの難局を乗り越えましょう。

令和2年4月

東白川村長 今井俊郎